



WORKNOTE

操作マニュアル

目次

1. はじめに.....	3
1.1. 注意事項	3
1.2. システムの構成.....	3
1.3. 動作環境	3
1.4. カメラの設定・撮影.....	4
1.4.1. 写真に音声を記録する	4
1.4.2. GPS 機能をつかって経路を記録する	5
1.4.3. GPS の精度を上げる(オプション).....	5
1.4.4. 撮影する.....	8
2. ログイン	9
2.1. ログイン画面	9
2.2. メイン画面(地図画面).....	10
3. データのアップロード	11
3.1. 新規アルバムを作成してデータをアップロード	11
3.1.1. 新規アルバムの作成.....	11
3.1.2. カメラとパソコンの接続	12
3.1.3. アルバムにデータをアップロード	12
3.2. 既存アルバムにデータをアップロード	13
3.2.1. 既存アルバムから選択.....	13
4. データの閲覧.....	14
5. データの編集.....	16
5.1.1. データ名、メモ、緯度経度の編集.....	16
5.1.2. 経路の編集.....	17
6. データのエクスポート	18
6.1. 個別エクスポート	18
6.2. 一括エクスポート	19

1. はじめに

1.1. 注意事項

- WORKNOTE利用規約を守り使用してください。
- WORKNOTE を使用する機器の使用方法・注意事項等は、各機器の取り扱い説明書等の使用方法を守り使用してください。

1.2. システムの構成

WORKNOTE は、OM デジタルソリューションズ社製の Tough TG-6 及び Tough TG-7 によって撮影した写真、位置情報、音声記録を SD カードより本システムに取り込むことで、デジタルマップ上に位置情報付きで表示させ、音声記録をテキストデータに自動変換することができます（音声記録のテキストデータ変換は Tough TG-6 エー郎及び Tough TG-7 のみとなります）。

取り込んだ写真はアルバムによる仕分けやタグ付けをすることができます。

機能については下記です。

1. アップロード機能
2. アルバム機能
3. 閲覧機能
4. 編集機能
5. タグ付け機能
6. 絞り込み機能
7. エクスポート機能

1.3. 動作環境

1	ネットワーク環境	インターネットに接続可能な環境
2	デバイス環境	(PC) OS : Windows10 以上で利用可能であること。 また、今後バージョンアップされる WindowsOS においては保守契約内で動作保証すること。 画面解像度 : 1333×768 以上 (1920×1024 以上推奨) メモリ : ブラウザで利用可能なメモリが 2 GB 以上推奨 Office アプリケーション : 必須ではないが Excel 利用可能環境推奨
		(Web ブラウザ) Microsoft Edge、GoogleChrome、FireFox (バージョン : 72 以上)、Safari (バージョン : 10 以上) プラグイン : 不要 ※JavaScript を使用、無効にしている場合は JavaScript を有効する必要あり ※ポップアップの表示を有効にする必要あり

※PC のタッチ操作は動作保証をしておりません。(windows タブレット等)

※スマートフォンでの動作保証はしておりません。

1.4. カメラの設定・撮影

撮影時の音声記録、位置情報の精度を向上するためにはカメラの初期設定が必要です。

設定の詳細はカメラのマニュアルを参照ください。

使用上の注意:

[https://learning.omsystem.com/TG-7/zz.html/manual/ja/precautions for use guid-567a0d00-4497-790b-5fbb-9700c6d7c5af 152.html](https://learning.omsystem.com/TG-7/zz.html/manual/ja/precautions%20for%20use/guid-567a0d00-4497-790b-5fbb-9700c6d7c5af152.html)

設定例は TG-6 を例にあげています。

1.4.1. 写真に音声を記録する

撮影 preset を A または P に変更します。

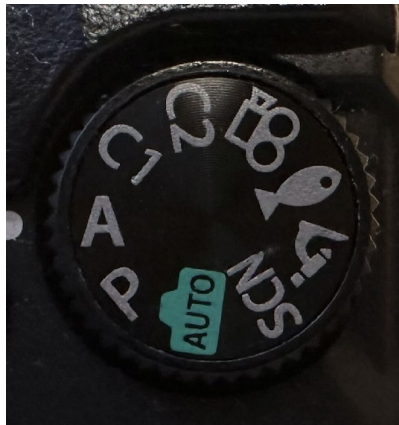


図 1 参考 Tough TG-6 エー郎モデル

Menu ボタンを押して、1 番目[工事メニュー]の静止画録音を[ON]にします。[On] にすると、シャッターを切ってから自動で 4 秒間音声を録音します。撮影メモとしてコメントを録音したいときなどに便利です。



図 2 参考 Tough TG-6 エー郎モデルの工事メニュー

1.4.2. GPS 機能をつかって経路を記録する

LOG レバーを LOG にする(「ログを記録する」)／[GPS 位置情報記録]を[On]にする／[日時設定]の[GPS 自動日時補正]を[On]にする

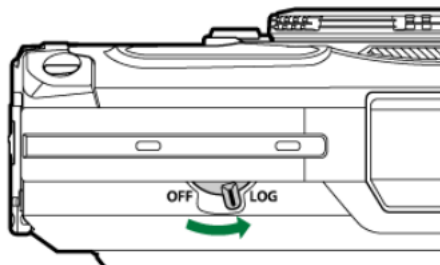


図 10 LOG レバー設定画面

- ※ GPS アイコンが点灯しているときは GPS 情報を取得しています。
- ※ GPS アイコンが点滅しているときは GPS 情報を取得できていません。点灯するまでしばらくお待ちください。
- ※ GPS アイコンが赤色に点灯しているときは故障です。
- ※ 問い合わせ先:OM デジタルソリューションズ サービスセンター(●●●●)

1.4.3. GPS の精度を上げる(オプション)

アプリのダウンロード URL と QR コード

スマートフォン用アプリケーション OI.Share を使った GPS アシストデータ更新方法

TG-6 の Menu ボタンを押して、5番目のメニューの G に移動。

GPS 位置情報記録を OFF に変更

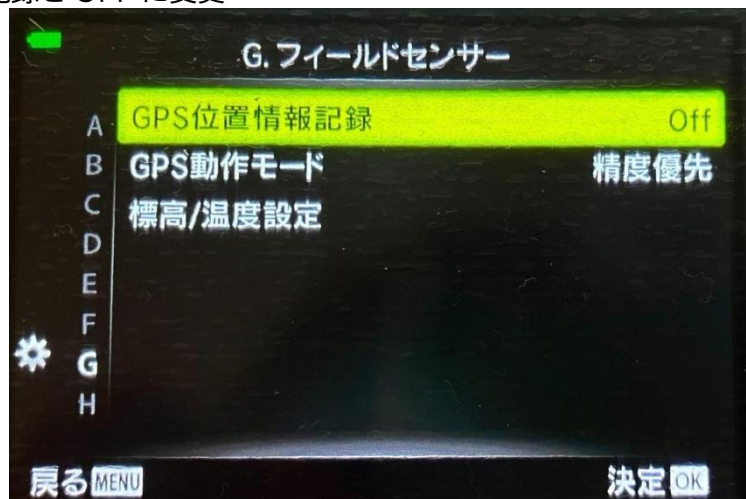


図 3 参考 Tough TG-6 エー郎モデルの GPS 位置情報記録選択画面

TG-6 の Menu ボタンを押して、4 番目のメニュー内、[スマートフォン接続]を選択。
プライベート接続を選択して接続を待つ

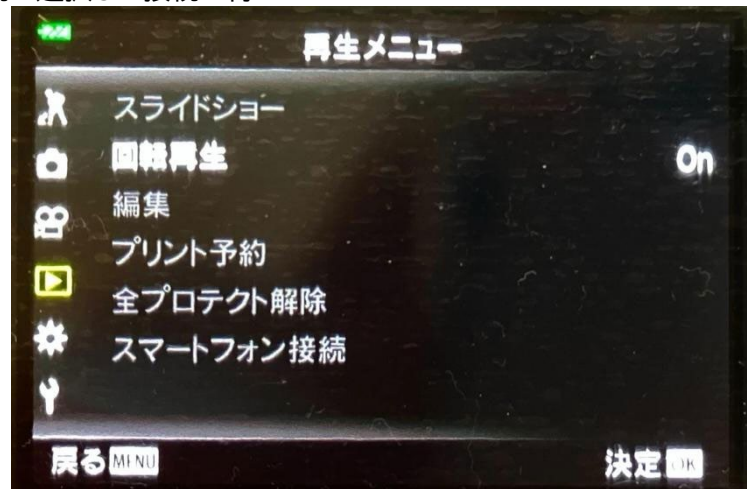


図 4 参考 Tough TG-6 エー太郎モデルの再生メニュー

カメラとスマートフォンの接続が Off の状態（スマートフォンがインターネットに繋がる状態）で、OI.Share 画面上部の①[設定]アイコンをタップし、設定画面で②[カメラ管理]を選択します。

カメラ管理画面で [A-GPS データの更新] 下部に「最新版に更新してください」と表示されている場合、最新の GPS アシストデータをダウンロードできます。③[A-GPS データの更新] をタップします。



カメラとの Wi-Fi 接続は Off

“最新版に更新してください。”

図 5 スマートフォンの OI.Share 設定画面

「ダウンロード」をタップすると、最新の GPS アシストデータをインターネット経由でスマートフォンにダウンロードします。



図 6 スマートフォンの OI.Share A-GPS データ更新画面

GPS アシストデータのダウンロードが完了しました。

カメラの Wi-Fi 機能をオンにして、カメラのモニターは、QR コードが表示されている状態にします。OI.Share の「転送」をタップすると、転送が始まります。

※ 「キャンセル」をタップしても、あとから GPS アシストデータをカメラに転送することもできます。



図 7 スマートフォンの OI.Share A-GPS データ更新画面

GPS アシストデータの転送が完了しました。

新しい GPS アシストデータを有効にするには [OK] をタップして、一度カメラの電源をオフにします。その後再びカメラの電源をオンにすると、更新 GPS アシストデータが有効になります。



図 8 スマートフォンの OI.Share A-GPS データ更新画面

TG-6 の Menu ボタンを押して、5 番目のメニューの G に移動し、GPS 位置情報記録を ON に変更

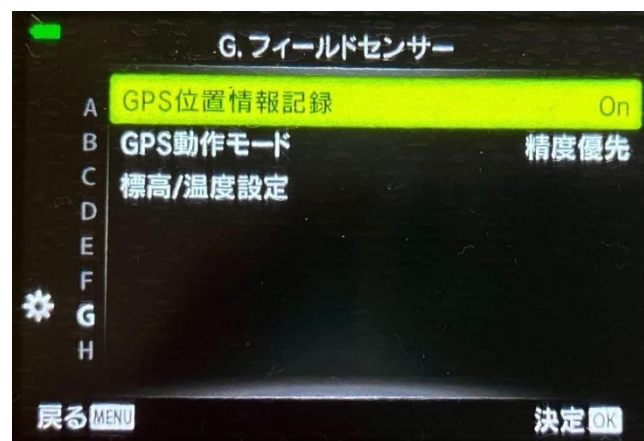


図 9 TG-6 の GPS 位置情報記録の設定画面

1.4.4. 撮影する

半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます(全押し)。

シャッターが切れ、撮影されます。

撮影された画像がモニターに表示されます。

2. ログイン

2.1. ログイン画面

PC のブラウザから URL(worknote.jp)にアクセスすると、ログイン画面が表示されます。



図 11 WORKNOTE のログイン画面

ログイン画面で、「メールアドレスでログイン」から登録されたメールアドレスを入力し「認証リンクを送信」をクリックします。

入力したメールアドレスにログイン用の URL が記載されたメールが届きますので、そちらの URL からログインしてください。

Google アカウントで登録されている場合は、「G ログイン」からログインしてください。



図 12 WORKNOTE の認証画面

ログインに成功すると、地図画面が表示されます。

2.2. メイン画面(地図画面)

この地図画面で、データの閲覧、投稿、各種管理の画面遷移することができます。

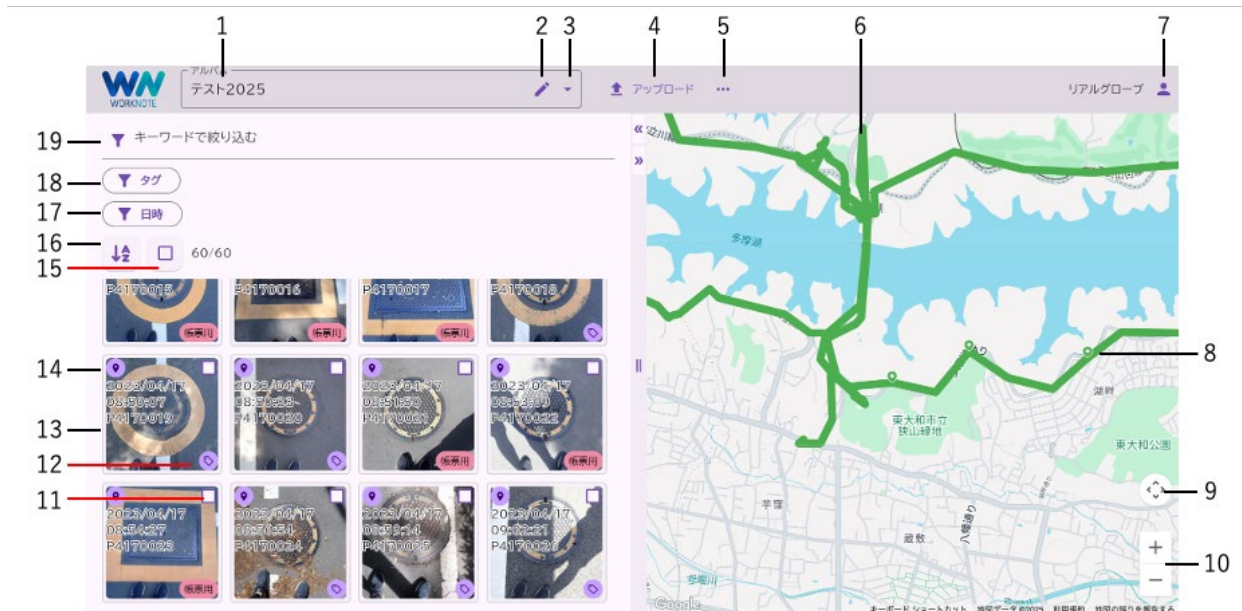


図 13 WORKNOTE のメイン画面

1. アルバム名
現在表示しているアルバムの名称です。
2. アルバム編集ボタン
アルバム名を編集できます。
3. アルバム切り替えボタン
他のアルバムへの切り替え、新規アルバムの作成ができます。
4. アップロードボタン
フォルダアップロード、ファイルアップロードから選択してデータをアップロードできます。
5. エクスポートボタン
表示されているアルバム情報の csv を出力できます。
6. 軌跡
アップロードされた軌跡データです。
7. 組織切り替え、ログアウトボタン
別組織への切り替えとログアウトができます。
8. 写真位置
アップロードされた写真のポイントです。
9. 地図操作ボタン
地図を上下左右、拡大縮小を行うことができます。
10. 拡大縮小ボタン
地図を拡大、縮小することができます。
11. 個別選択チェックボックス
写真を個別に選択するためのボタンです。
12. タグ付けボタン
写真に個別でタグを付けることができます。
13. 写真
登録されている写真です。
14. 地図移動ボタン

写真が登録されている位置に地図を移動させることができます。

15. 一括チェックボックス
全ての写真を一括選択し、「タグ変更」、「地図表示」、「削除」等をすることができます。
16. 並び替えボタン
写真の表示順を並び替えることができます。
17. 日時絞り込みボタン
追加した日時で絞り込みを行うことができます。
18. タグ絞り込みボタン
付与したタグで絞り込みを行うことができます。
19. キーワード絞り込みボックス
音声メモのテキスト情報から入力されたキーワードで絞り込みを行うことができます。

3. データのアップロード

データのアップロードは下記のいずれかでを行います。

- 新規アルバムを作成してデータをアップロード
- 既存アルバムにデータをアップロード

3.1. 新規アルバムを作成してデータをアップロード

3.1.1. 新規アルバムの作成

地図画面からアルバム選択ボタンをクリックします。

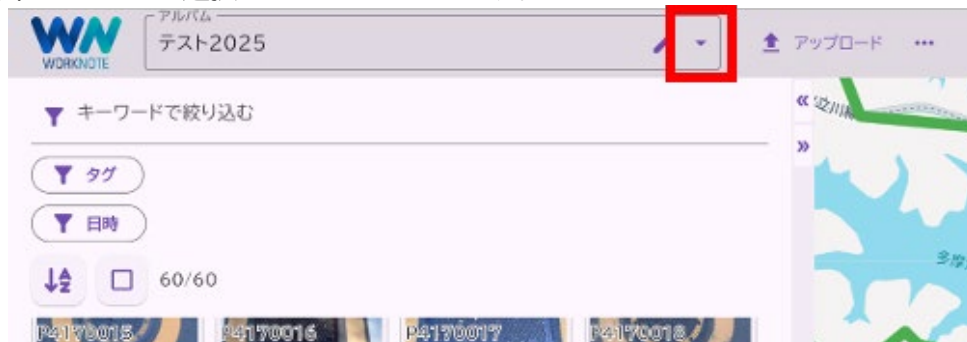


図 14 WORKNOTE の新規アルバム作成画面

「新規アルバム作成」を選択します。



図 15 WORKNOTE の新規アルバム作成操作の様子

任意のアルバム名を入力し、「保存して戻る」をクリックします。

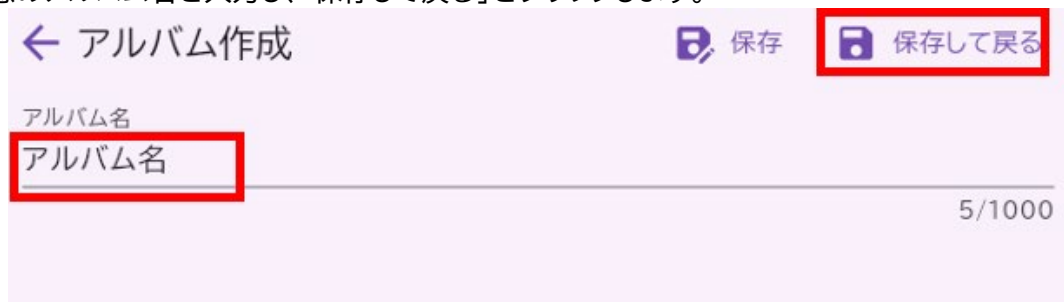


図 16 WORKNOTE の新規アルバム作成操作の様子

3.1.2. カメラとパソコンの接続

カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンを接続します。
USB ポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。
モニターに USB ケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。
FG を押して[ストレージ]または[MTP]を選択します。OK ボタンを押します。

[ストレージ]:パソコンにカードリーダーとして接続します。

[MTP]:パソコンにポータブルデバイスとして接続します。



カメラが新しい機器としてパソコンに認識されます。
フォルダ名が「OM SYSTEM」等として表示されます。

3.1.3. アルバムにデータをアップロード

地図画面から「アップロード」をクリックします。

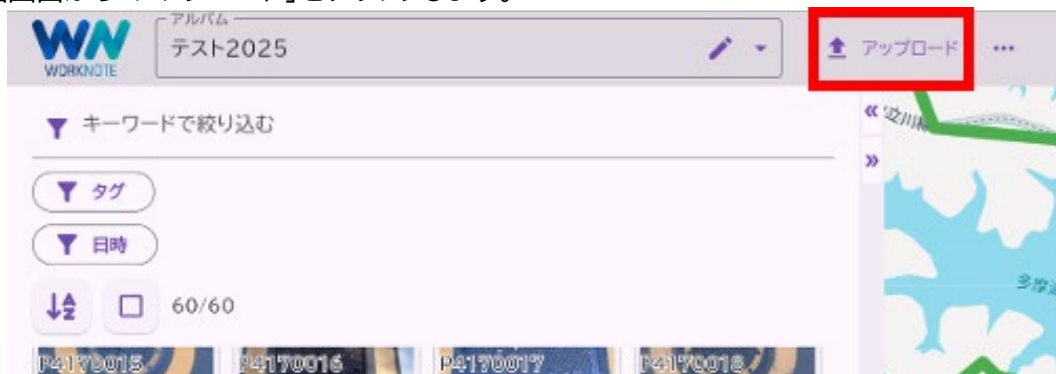


図 17 WORKNOTE のデータアップロード操作の様子

アップロードしたいファイルを選択します。

- 「フォルダを選ぶ」

フォルダに保存されているデータを一括で取り込みます。
取り込む際は下記から選択してください。

- ・GPSLOG:位置情報に関するデータです。
- ・DCIM:写真、動画、音声に関するデータです。

※フォルダアップロードの際に GPSLOG と DCIM を同一フォルダとしてアップロードしないとデータを紐付けすることはできません。

※紐付けする場合は、同一フォルダにまとめてからアップロードしてください。

- 「ファイルを選ぶ」

フォルダの保存されているデータを個別に取り込みます。



図 18 WORKNOTE のアップロードファイル選択画面

ファイルの選択が完了すると、データアップロードの確認画面が表示されます。
問題がなければ「アップロードして戻る」をクリックします。

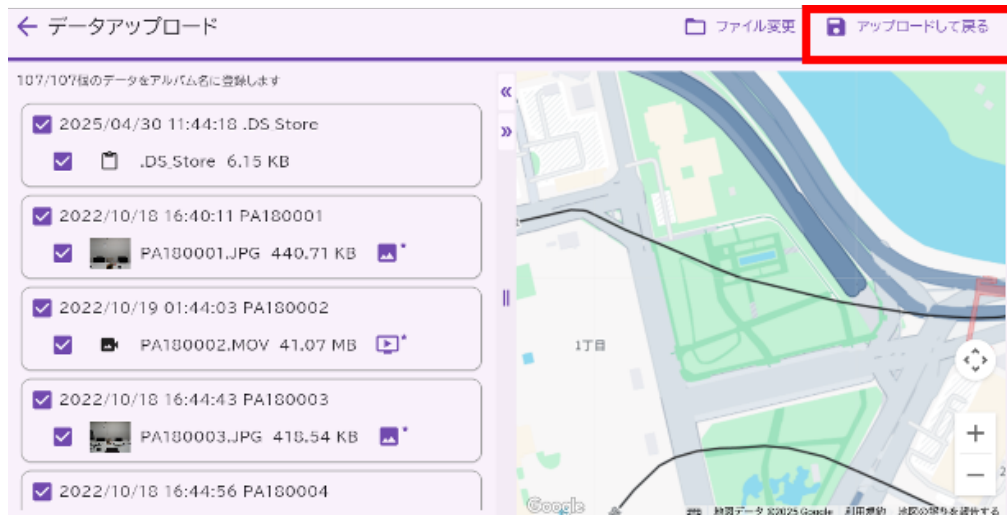


図 19 WORKNOTE のデータアップロード画面

これにてアップロードは完了です。

3.2. 既存アルバムにデータをアップロード

3.2.1. 既存アルバムから選択

地図画面からアルバム選択ボタンをクリックします。

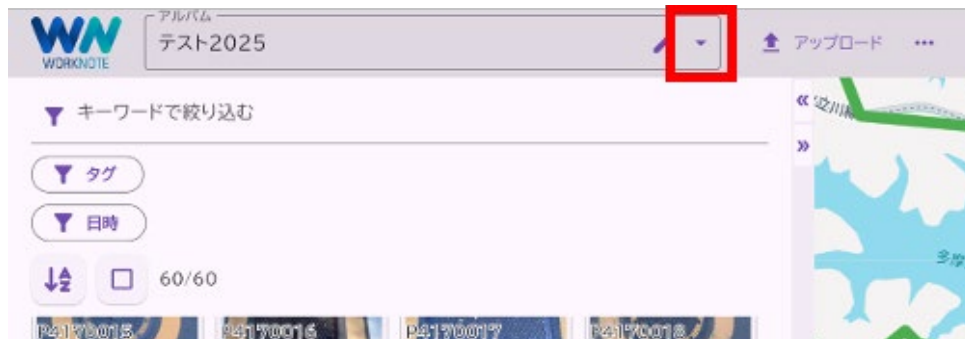


図 20 WORKNOTE のアルバム選択の様子

取り込みたいアルバムを選択します。以降は[3.1.2. アルバムにデータをアップロード]を参照ください。

4. データの閲覧

データの閲覧はメイン画面から行うことができます。

画面左側の写真一覧から閲覧したい写真を選択するか、地図画面からポイントをクリックします。
軌跡情報の閲覧は軌跡をクリックします。

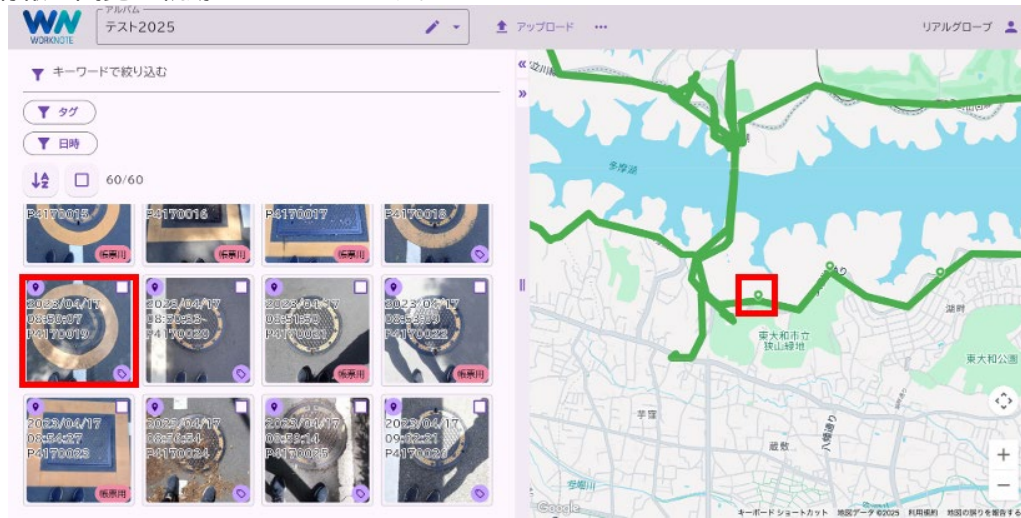


図 21 WORKNOTE の軌跡選択画面

閲覧画面の表示内容は下記です。



図 22 WORKNOTE の個別画像の閲覧画面

1. データ名
データのファイル名です。
2. 編集ボタン
データを編集することができます。
3. エクスポート、削除ボタン
データのエクスポート、削除をすることができます。
4. 日時
データの取得日時です。
5. 緯度、経度
データの緯度、経度の座標情報です。
6. ファイル
データに紐づく各種ファイル情報です。
7. 写真
写真データです。クリックすると拡大表示されます。
8. タグ
タグの変更をすることができます。
9. メモ
音声記録を自動でテキスト化した情報です。

5. データの編集

データの閲覧画面から「編集」をクリックすることで編集を行うことができます。



図 23 WORKNOTE の個別画像のデータ編集画面への遷移

5.1.1. データ名、メモ、緯度経度の編集

下記の項目を編集することができます。

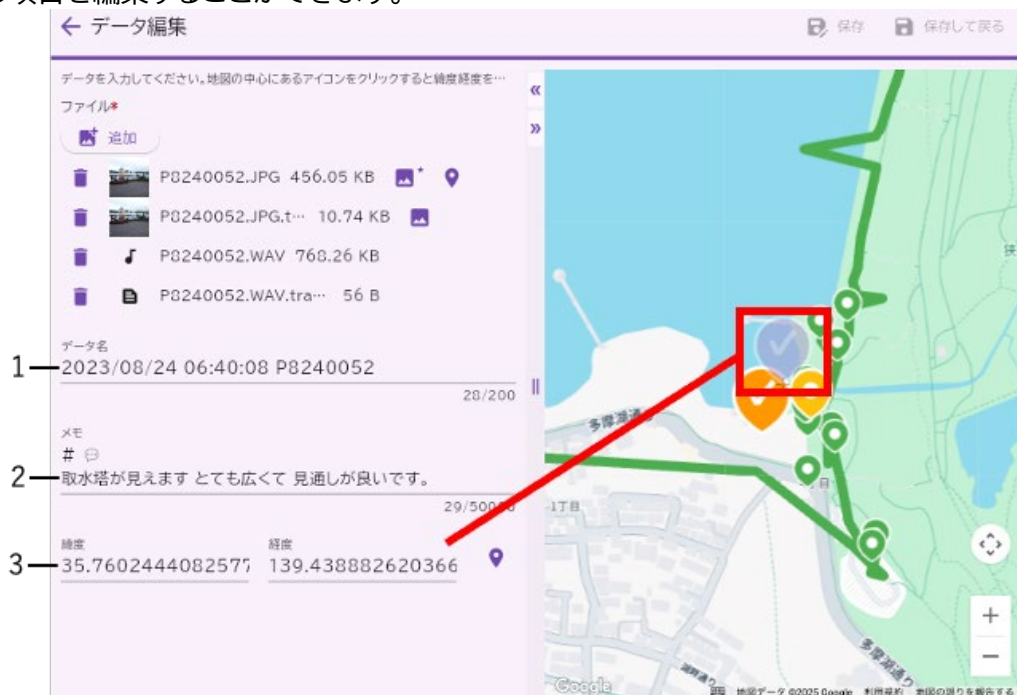


図 24 WORKNOTE の個別画像のデータ編集画面

1. データ名

データのファイル名を編集することができます。

2. メモ

音声記録の自動テキスト情報を編集することができます。

3. 緯度、経度

写真の緯度経度情報を編集することができます。編集は地図画面から行うこともでき、紫アイコ

ンをクリックした位置に変更することもできます。

編集が完了したら「保存」もしくは「保存して戻る」をクリックして完了です。

5.1.2. 経路の編集

経路データにある、図内赤枠のアイコンをクリックします。

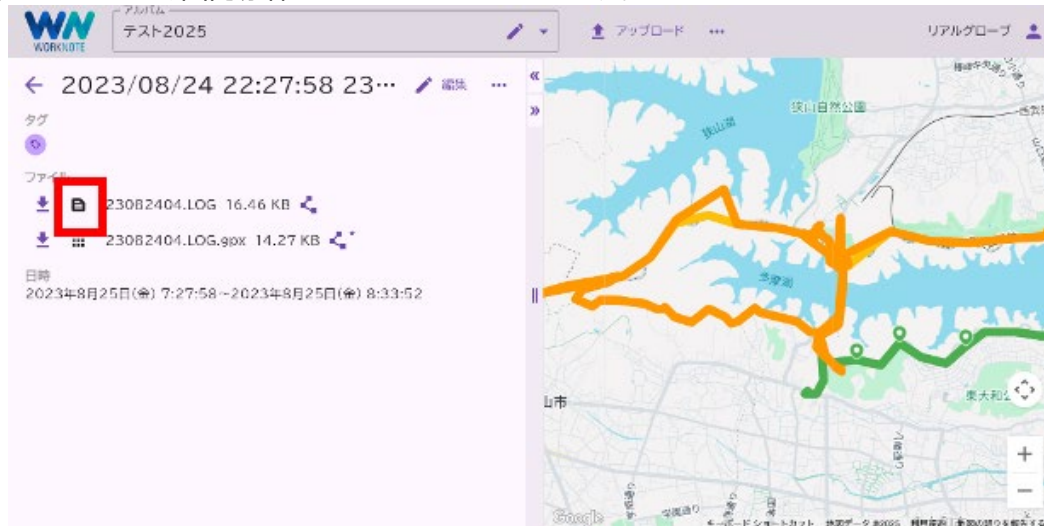


図 25 WORKNOTE の軌跡データ編集画面

詳細画面が表示されたら、ペンアイコンをクリックすることで軌跡の編集を行うことができます。

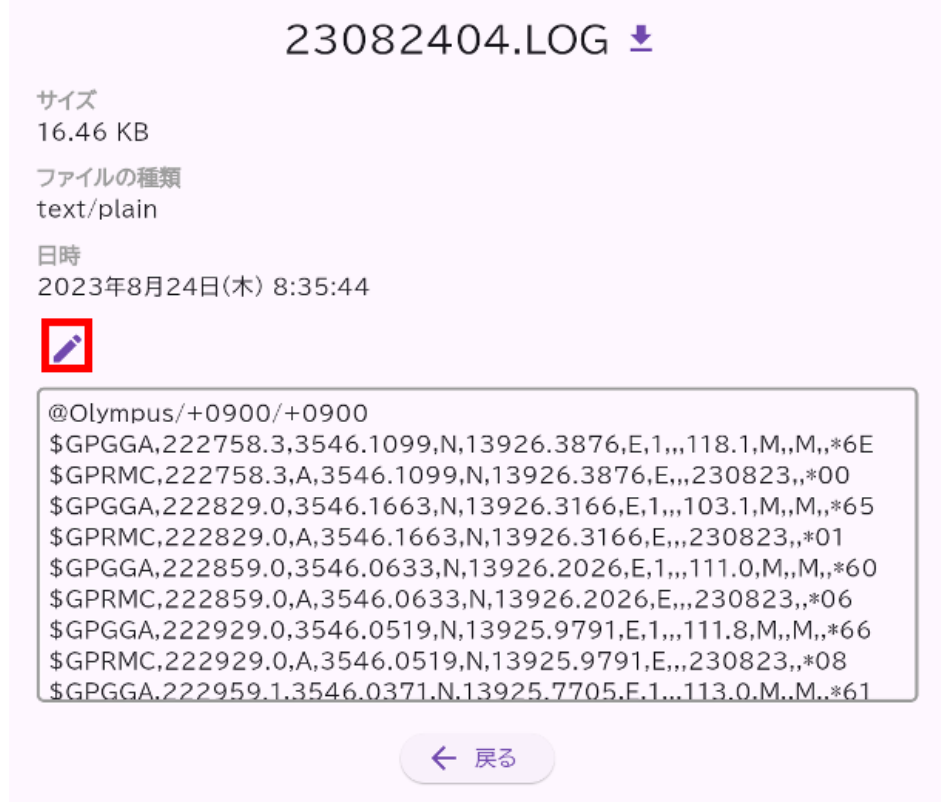


図 26 WORKNOTE の経路データ編集画面

編集したいポイントの緯度経度を編集するか、地図からポイントを動かして編集することができます

ます。



図 27 WORKNOTE の経路編集画面

編集が完了したら「保存」もしくは「保存して戻る」をクリックして完了です。

6. データのエクスポート

アップロードされたデータを個別や一括で csv 出力することができます。

6.1. 個別エクスポート

個別データの閲覧画面より図内赤枠のボタンをクリックし「エクスポート」を選択します。



図 28 WORKNOTE の閲覧画面でエクスポートを選択する様子

「エクスポート」を選択します。



図 29 WORKNOTE のエクスポート画面

「ダウンロード」か「URL コピー」から選択し、ファイルをダウンロードできます。



図 30 WORKNOTE のエクスポート画面

「OK」を押すと元の画面に戻ります。

6.2. 一括エクスポート

タグや日時などで絞り込みした結果や、選択したデータを一括でエクスポートすることができます。

必要な写真を選択したら、図内赤枠のボタンをクリックし、「エクスポート」を選択します。

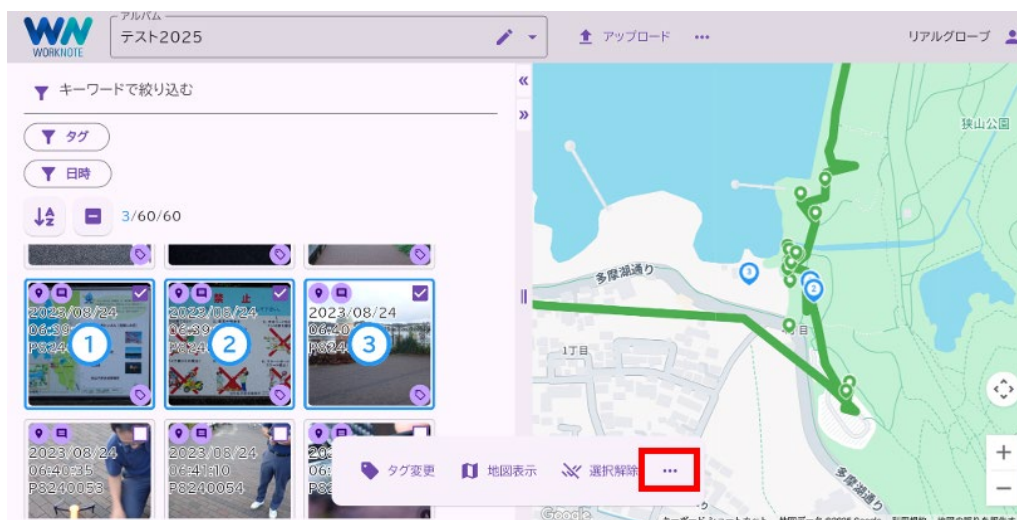


図 31 WORKNOTE の一括エクスポート画面

「エクスポート」を選択します。



図 32 WORKNOTE の一括エクスポート画面

「ダウンロード」か「URL コピー」から選択し、ファイルをダウンロードできます。



図 33 WORKNOTE の一括エクスポート画面

「OK」を押すと元の画面に戻ります。